

1 題材の目標及び題材構想

「家族・家庭と子どもの成長」(15時間完了)

(1) 題材の目標

- | | |
|---|-------------------|
| ① 成長を振り返り、囲の人との関わりに気付こうとする。 | (生活や技術への関心・意欲・態度) |
| ② 幼児との触れ合い活動を通して、関わり方を工夫することができる。 | (生活を工夫し創造する能力) |
| ③ 幼児との触れ合い活動を通して、幼児の発達・生活・遊びに関する特徴を知り、幼児と関わることができる。 | (生活の技能) |
| ④ 絵本を通して幼児の遊びの意義について考え、幼児にとっての遊びの大切さを理解する。 | (生活や技術についての知識・理解) |

(2) 評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】	成長を振り返り、周囲の人との関わりに気付こうとする。
生活を工夫し、創造する能力 ・・・【工】	幼児との触れ合い活動を通して、関わり方を工夫することができる。
生活の技能 ・・・【技】	幼児との触れ合い活動を通して、幼児の発達・生活・遊びに関する特徴を知り、幼児と関わることができます。
生活や技術についての知識・理解・・・【知】	絵本を通して幼児の遊びの意義について考え、幼児にとっての遊びの大切さを理解する。

(3) 題材構想

学習過程とねらい	時数	学習活動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
1 幼児の発達 ○幼い頃を振り返る。 ○体の発達について知る。 ○心の発達について知る。	3	1 振り返る ・母子手帳や幼稚園、保育園の記録を見て体や心の発達を知る。 ・幼い頃の自分を振り返り、幼稚園、保育園の記録や、印象に残っている出来事を思い出し、心の発達に気付く。	・自分の幼い頃を振り返り、幼児との触れ合い活動に興味をもつきつかけをつくる。 ・幼児の体や心の発達をより実感できるように、赤ちゃん人形や等身大パネルを提示する。 ☆幼い頃は誰にでもあり、家族や身近な大人の支えがあって体や心が発達することを理解できたか。(ワークシート) 【知】
2 幼児の生活 ○生活習慣を知る。 ・基本的生活習慣 ・社会的生活習慣 ○1日の生活を知る。 ○遊びを知る。 ・遊び方の変化 ・遊びで育つ力 ・絵本で育つ力	4	2 考える ・振り返りから、幼児期に身に付けておきたい生活習慣を考える。 ・体の発達から1日の生活の特徴を理解する。 ・1日の生活の特徴から、遊びの大切さを知る。 ・絵本の工夫を知る。	・生活習慣を身に付けるには、家族や身近な大人との関わりが大切なことに気付かせる。 ・幼児の1日と中学生の1日を比較すると特徴に気付きやすいことを助言する。 ・絵本の工夫に気付いたり、魅力を感じたりするために、たくさんの絵本を用意する(C 参考資料)。 ☆意欲的に考えたり、意見交流をして、絵本によって育つ力が理解で

			きたか。(ワークシート、発表の内容) 【関】【知】
3 幼児との関わり ○触れ合い体験の計画をする。 ・自己紹介 ・お遊戯 ・絵本の読み聞かせ ○触れ合い体験をする。 ○振り返りをする。	7	3 体験する ・幼児の発達や生活を考慮しながら絵本を製作したりお遊戯を計画したりする。 ・伝わりやすい表現や態度を工夫しながら練習する。 ・絵本によって育つ力を意識しながら読み聞かせを行う。 ・幼児と触れ合う体験を通して、幼児期の特性に気付く。	・実習の目的、注意点、ルールを提示する。 ・幼児について学習したことを振り返り、実習計画を立てるように助言する。 ☆幼児の生活や遊びに興味をもって工夫して関わることができたか。 (実習の様子、ワークシート) 【工】【技】
4 幼児と家族 ○まとめをする。	1	4 生かす ・幼児や家族の成長・発達段階における家族の在り方や身近な大人の役割について話し合う。 ・家族や身近な大人との信頼関係の大切さを知る。	・家族の気持ちを立場を変えて考えることで、子どもが育つために大切なことに気付かせる。 ☆幼児を取り巻く家族の気持ちや保育に対する家族の役割を考えようとしたか。(ワークシート・発表の内容) 【関】